

一日研報告

- 1 期日 3月28日
- 2 場所 倉敷労働会館
- 3 参加者 O、CH、YO、AR、KA、WA、TA、AS、HA

4 内容

- ・学習集団づくりの必要性について
- ・～チコちゃん式トークを通して～ (O)
- ・学級映像から共通理解を図る (AR、HA、YO)
- ・運命委員会 (役割分担、運命委員会 in 名古屋 報告)
- ・「風の郵便屋さん」授業風解釈演習 (O)

「勉強したことを一人でどれだけできるか」

「学習集団づくりがどうしても必要なのか」という疑問について、尾上先生が参加者とトークをしながらキーワードとなる言葉を引き出していきました。考え直してみると、改めて感じるものがたくさんありました。

「異質 (他者)」が自分を気づかせて (見つめさせて) くれる。
「明視 (=事実の中から真実を見出す)」していける関係をつくる。
「教材を見る目=人を見る目」をつくる。 など

3名の学級映像をもとに、若手4人と一緒にトーク形式で、感想や質問に答えていきました。その中で出てきた話題について全員で話し合っていました。来年度、私たちが目指す「学習集団」にしていくために、何を大切に年間取り組んでいきたいのか、来週の一日研でより具体的に考えていくきっかけになりました。

新教材「風のゆうびん屋さん」では、個人学習からペア学習、全体へという手順で行いました。変化を探して大まかな全体の構造をつかみ、だんだん細かいところを見ていきました。最終的には12段落

と 13 段落の関係性について白熱した話し合いが行われました。いつの間にか終了 5 分前になっていました。(HA)